

議会だより

定例会

令和6年第1回定例会は3月11日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

- 調査期日 1月26日
- 調査事項 北竜町図書館の利用状況について
- 調査結果 指摘事項なし

- 調査期日 1月26日
- 調査事項 ひとり暮らし高齢者対策について
- 調査結果 指摘事項なし

- 調査期日 2月16日
- 調査事項 町道及び公共施設等の除排雪状況について
- 調査結果 指摘事項なし

報告

議会の委任による専決処分の報告について

承認

専決処分の承認を求めることについて

○北竜町手数料条例の一部改正について

専決処分の承認を求めることについて

○北竜町一般会計補正予算(第7号)について

同意

○北竜町表彰条例に基づく表彰について

- 佐野 豊 氏
- 小坂 一行 氏
- 小松 正美 氏
- 竹林 信幸 氏
- 水谷 茂樹 氏

原案可決

○北竜町と雨竜町における自家用有償旅客運送に関する事務の委託に関する規約の廃止について

○北竜町犯罪被害者等支援条例の制定について

○令和5年度北竜町一般会計

補正予算(第8号)について

○令和5年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について

○令和5年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第5号)について

○令和5年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第4号)について

○令和5年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第4号)について

○令和5年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計補正予算(第5号)について

○令和5年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第5号)について

○北竜町総合計画(後期基本計画)について

○北竜町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について

委員会報告

総務産業常任委員会

- 調査期日 3月13日～15日
- 審査事件 令和6年度予算審査会計(8会計)、北竜町

定住促進奨励金等の交付に関する条例の一部改正について

外

■ 審議結果 文書による指摘4件、口頭による意見1件を付与し、原案通り可決すべきものと決定する。

意見書提出

次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。

○刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書

○食料・農業・農村基本法改正に伴い、基本法に「種子の自給」を盛り込むことを求める意見書

○将来にわたり持続可能な農業の実現を図る食料・農業・農村基本法改正等に関する意見書



活動報告

【4月】

1日…やわら保育園入園式
 3日…佐野前町長の北海道土地改良事業団体連合会特別功労表彰を祝う会
 8日…真竜小学校入学式 交通安全祈願祭、北竜中学校入学式
 9日…議会運営委員会
 10日…総務産業常任委員会
 16～17日…令和6年第2回定例会
 17日…議会運営委員会
 25日…例月出納検査
 30日…農業振興協議会

活動予定

【5月】

10日…議会運営委員会、第2回北竜町議会臨時会
 17日…北竜町開拓記念式
 21～22日…全国議長会議長・副議長研修会
 24日…北空知議会議長連絡協議会総会
 未定…例月出納検査

一般質問

3月11日に開会された第1回定例会では、6名の議員から6件の一般質問がありました。



木村議員

木村議員 商工業店舗の改修等に 伴う助成について

木村議員

北竜町商工業元気支援応援条例が制定されているが、屋根や外壁等の改修等には適用されない内容となっている。屋根や外壁等の改修にも活用出来る内容への改正が必要と思うが、理事者の考えを伺いたい。

佐々木町長

北竜町商工業元気応援支援事業は、町内の商工業の振興、地域雇用の推進を目的として、平成26年に制定された。商工業振興、地域雇用推進事業の継続と助成内容の拡充については、商工会から要望をいただいております。今後のまちづくりの中で、地域に根ざした魅力ある商店街作りへの支援を進める事として位置付けて

いる事業のため、申請された事業が本事業の目的に適合するか精査が必要と考えている。町民サービスの向上、町の活性化に繋がる事業拡大に対し支援する事を基本に、商工会とも支援内容を協議し、検討してまいりたい。

木村議員

自助努力はもとより必要と思うが人口減少が進む中、公助、共助の必要性がより重要になると思う。これまで施行されてきた北竜町商工業元気支援応援条例をより充実させるためにその内容と支援金の限度額の大幅な引き上げの見直しが必要と思う。

佐々木町長

北竜町商工業元気支援応援条例の活用については、商



林議員

林議員 運転免許証返納後の 通院について

工会からも要望をいただいている。商工業の活性化のために屋根や外壁の改修が趣旨に沿った対応が出来るの

か、町内での公平性を保ちながら国や関係者、近隣町の動向を見ながら充分協議をし、進めてまいりたい。

林議員

バスの本数も減りバス時間と通院時間が合わないことに対してこれからの通院に不安を抱えている方がいる状況である。

ハイヤーの割引チケットでの助成を行うと聞いたが、いつから実施になるのか。

佐々木町長

タクシー助成については、町外の通院、買い物利用者に対しチケット交付し、タクシー料金の1/2以内を助成予定であるが、詳細は政策予算にて検討している。4月定例会にて上程し、可決後に5月に住民周知、運用開始を予定している。



沖野議員

沖野議員 町営バス北竜妹背牛 線の運行について

沖野議員
令和6年4月1日より碧水市街から妹背牛駅までの区間

が町営バスとして運行され、運行ダイヤは滝川方面行JRに合わせているので、妹背牛



町の「わかち愛ひろば」前で深川行き7時の便は20分、北竜町行き16時の便は30分の待ち時間が必要となる。

深川方面の通学・通院の利用者が多い現状にあり、深川西高校・深川市立病院までの直通運行は出来ないのか理事者に伺う。

佐々木町長

町営バス北竜妹背牛線は、北竜町地域公共交通計画並びに地域内フィーダー系統確保維持計画に基づき運行を予定している。

バスや列車のそれぞれのジャストタイムに運行することは、現行のバス1台では困難であり、待ち時間を30分程度いただかなければならないものと考えている。

また、直接深川方面への運行は現行の国の補助システムでは、深滝線への接続に対しての補助や特別交付税措置がなされているが、重複区間の妹背牛深川間は自家用有償旅客運送での許可を取っているため運賃をいたさながら運行する許可が取得出来ず、無償運送となり運行経費が全額

町単費となる。

また、運行している和ハイヤーは、乗込タクシーも運行しており、こちらの運行時間にも影響が出てくる状況となっているが、現行の運行方法がベストとは思ってなく、利用者の意見を伺いながら、皆さんが便利と思ってもらえる地域公共交通を目指し、本町の現状を国や道に訴え、制度改革などを申し入れていきたい。

沖野議員

発表された7時台のダイヤの接続では滝川方面の高校生は遅刻寸前と聞いたが、どう考えているか。

南波企画振興課長

高校に間に合うように至急調整をとる。

沖野議員

深川までの直通運転が可能になれば待ち時間解消にもなるため、早期実現をお願いしたい。

南波企画振興課長

実際に運行して不都合が出てきた場合、随時変更調整を行う予定。



寺垣議員

冬期間におけるインバウンドの可能性について

寺垣議員
昨今、円安と新型コロナウイルス感染症の流行明けに伴う海外からの観光客の増加、特に春節休みを利用して日本各地への観光客を冬の北竜町に誘導出来る可能性があると思うが、理事者の考えを伺いたい。

寺垣議員

「北海道は外国人が訪れてみたいベスト3」に入っており、北竜町はひまわりの町としてネームバリューがあるが、冬の間、この北竜町に外国の方々

がおこしいただける可能性はどのくらいあるのか。

佐々木町長

ひまわりの里活性化協議会でも、ひまわりまつり以外に集客を見込めるものが必要であると論議を重ね、ひまわりまつりの期間を一月程度延長することや年次を通して楽しめるものを鋭意模索しているところである。

現在、ゆきんこまつり、アイスクャンドルやプロジェクト

ションマッピング、またはスカイランタンなど、地域おこし協力隊や商工会青年部が中心となり北竜町の冬のイベントを実施している。

誘客誘導として、早急なインバウンド観光を目的とした観光資源の開発やイベントを作り上げることはできないが、まず町民が楽しみ、その模様をFacebookやInstagramなどのSNSを活用しながら国内外に広く発信し、北竜町への来訪者及び応援して下さる方々を増やしていきたい。

また、町内企業からインバウンド支援要請があれば、関係機関なども連携を図りながら取組が出来るよう検討してまいりたい。

佐々木町長

ひまわりの里の仮設展望台については、道路や施設の適切な配置、場所により発生する人の流れなども考慮し、ひまわりの里整備基本計画の見直しにあわせて検討を進めている。

新たな展望台設置については令和6年度では本格的な工



佐藤議員

ひまわりの里の仮設展望台の設置について

佐藤議員

令和6年度のひまわりの里の仮設展望台はいつ、どのく

らいの規模で設置予定か、また完成の時期はいつになるのか、理事者に伺いたい。

作物としての設置が難しい状況にあり、今年度予算では仮設展望台の設置を別途とし、予算額802千円、規格、構造は昨年同様の地上122cm、天板部分610×485cmで7月上旬に設置する予定であり、来園していただく方、町民の皆様が安心して安全な観

光を楽しんでいただける設備になるよう検討していく。

佐藤議員

特に身体障がい者の方や車椅子の方が昇り降りできる展望台の設置が必要と思うので、来年度に向けて良い展望台ができることを期待する。



澤田議員

北竜町の有害鳥獣 駆除対策について

澤田議員

鹿による農作物被害が年々増加、熊の人里への出没が地域を問わず著しい。本町においても昨年は四季を通して熊の出没があった。本町の有害鳥獣駆除対策について、ハンターの数は即応できる体制になっていない。

ロシアのウクライナ侵攻や国際的物流の停滞から、実包、火薬、雷管の入手が厳しく、価格も高騰し続けており、従来町の鹿駆除報償費では不

十分であり、熊の駆除に至っては明確な報償制度等が設けられていない。新規ハンターの狩猟免許の取得も時間がかかる上実働となるまでさらに訓練が必要である。

駆除制度は当初に比較すると現状は大きく変化している。鹿の駆除報償費、使用実包の代金清算、熊にかかる駆除の報償費制度の検討、専門の地域おこし協力隊の導入が喫緊の課題と感じる。若い人が意欲を持てるよう、制度に

対し積極的に取り組んで貰いたい、町としての考えを伺いたい。

佐々木町長

今までの有害鳥獣駆除対策では、熊の駆除出動について明確化されていなかった。令和5年秋より駆除等にかかる出動は1時間あたり3,000円の報酬、弾代は時価金額、箱罠等で熊の対応出役にかかった金額について北竜町鳥獣被害防止対策協議会へ支援することにした。令和6年度には熊用箱罠購入について補助申請を予定。有害鳥獣駆除担い手として地域おこし協力隊も引き続き募集を行う。

澤田議員

5年前、島牧村で熊が民家のある地域に出没した件だが、警察に発砲許可を願うが、夜間発砲は鳥獣保護法の観点から違反事案である。

振興局に許可を求めるが

「警察に発砲許可をもらえば良い」と、徒労だけがかり駆除が出来ないことがあった。警察と振興局との両者間に町が関わり、こういった事態に即応できるよう努力して

いただけないか。

さらに職員にあっても処理に際する心労負担は少なくともないと想像するが、それに対して特殊勤務手当は設けているのか。

南波総務課長

有害鳥獣に関して特殊勤務

手当については条例項目が削除されているため、時間外超勤手当で対応している。

佐々木町長

他町村の事例も参考にさらなる安全対策に取り組んでいく。



議員 コラム

昨年12月に一大決心をし、今年1月より北竜町議会議員となり、新たな日々をスタートしました。

緊張の中、初の議会定例会、自分だけの意見ではなく、町民皆様の声を聞き届けられたらと、私に出来る事があり、少しでも役に立てればという思いですので、気軽に声をかけていただきご意見をいただきたいと思っています。

脳は筋肉と同じで何歳からでも鍛えられるそうなので、色々と勉強し北竜町のまちづくりに役立てられるよう日々精進してまいります。

春に入学・進学・就職された皆様方も新たな日々を緊張と共に過ごし、少しは慣れてきているのではないでしようか。

失敗を恐れずに色々と経験し、前に進んで行きましよう。
(林 佳子)

議員の賛否の公表（北竜町議会では予算議会における議員の賛否を公表することとしています）

令和6年第1回定例会（会期：3月11日～15日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：議長の為賛否無し

▽議 案 件 名	沖野	林	寺垣	佐藤	木村	澤田	尾崎	中村
議会の委任による専決処分の報告について	○	○	○	○	○	○	○	-
専決処分の承認を求めることについて 〔北竜町手数料条例の一部改正について〕	○	○	○	○	○	○	○	-
専決処分の承認を求めることについて 〔北竜町一般会計補正予算（第7号）について〕	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町表彰条例に基づく表彰について（6名）	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町と雨竜町における 自家用有償旅客運送に関する事務の委託に関する規約の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町犯罪被害者等支援条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度北竜町一般会計補正予算（第8号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度北竜町介護保険特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度北竜町農業集落排水事業及び 個別排水処理事業会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度北竜町簡易水道事業会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町総合計画（後期基本計画）について	○	○	○	○	○	○	○	-
北竜町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について	○	○	○	○	○	○	○	-
本会議における質疑の件数	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	質疑 0件	-

※地方自治法第117条の規定により退室

予算審査特別委員会（3月13日～15日）

○：賛成 △：意見を付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 -：委員長・監査委員の為賛否無し

▽委 員 会 付 託 案 件	沖野	林	寺垣	佐藤	木村	澤田	尾崎	中村
北竜町定住促進奨励金等の交付に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町商工業元気支援応援条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町第2号会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する 条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介 護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
北竜町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める 条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○

農産物加工実習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	-	○
公の施設に係る指定管理者の指定について（サンフラワーパーク）	○	○	○	○	○	○	-	○
令和6年度北竜町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和6年度北竜町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和6年度北竜町立診療所事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和6年度北竜町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和6年度北竜町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和6年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和6年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
令和6年度北竜町簡易水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	-	○
予算審査特別委員会における質疑の件数	質疑 2件	質疑 1件	質疑 8件	質疑 1件	質疑 1件	質疑 17件	-	質疑 5件

予算審査特別委員会における議員質疑（意見附与・修正を求めた質疑）

質疑内容	答弁内容
<p>・北竜版まちづくり会社設立支援事業について</p> <p>将来の北竜町にとって、高齢化や人口減少に対応するために重要な作業と考える。北竜町全体としてあらゆる業種の活性化を推進するために、町民理解を第一に実施されたい。</p>	<p>この事業は個別の一つの新しい会社を設立すると言うことでなく、今ある体制を網羅したなかで体制を構築していくものであるため。進捗状況を随時議会に報告させていただく。</p>
<p>・北竜町乗り合いタクシー事業について</p> <p>空知中央バス北竜～深川線の廃止や町内タクシー利用の不便さから、利用のあり方に課題がある。ライドシェアのあり方も含めて北竜町の実状に合わせた交通対策を構築されたい。</p>	<p>深川線廃止に伴う町営バスの運行、合わせてそれを補う形でのタクシー利用料助成事業を始める。町営バスは朝一便増便したが、今後も検証を重ねて改善していく。</p>
<p>・空き家対策について</p> <p>これまで空き家対策については、移住・定住につながる取組がとられていない状況にある。近年、全国的に田園回帰や移住・定住対策がマスコミで取り上げられ、地方自治体においても廃屋となる空き家をリノベーションして有効活用している市町村も多く見受けられることから、先進自治体を参考にしながら北竜町への移住や定住に活用する努力をされたい。</p>	<p>空き家対策については4月政策予算に向け検討している。検討のなかで、不動産鑑定士、土地家屋調査士等の専門業者に相談する話も出ているので、検討状況を伝えていく。</p>
<p>・サンフラワーパーク北竜温泉の指定管理委託について</p> <p>指定管理とは、民間活力導入による効率的経営を行う事が目的である。しかし、北竜振興公社が指定管理委託を受けているが、民間活力が発揮されているとは言いがたい状況が見受けられる。人口減少対策や雇用・労働環境の維持、ひまわりを活用した観光や町民の福祉と健康に資する施設として重要な位置づけにあるが、町として大きな経済的な負担が伴う事業でもあり、本旨を忘れることなく経営改善に努力されたい。</p>	<p>利益が一番出るのは「食」レストラン部門であり、調理師の面接も行う予定がある。PRについては、観光全体的なPR活動の検討を行っていく。</p>
<p>・商業活性化施設ココワ移動販売システム構築事業について</p> <p>現在、雨竜町から週1回ココワに雨竜町民を乗せた買い物バスが運行しているが、移動販売システムの構築と合わせて両町協議のもとで北竜温泉の利用も含めた相互利用事業の検討をされたい。</p>	<p>雨竜の担当に確認をしたが、週一便以上の増便を希望する声はない。そこに北竜町から増便を申し出ることは考えていない。</p>

